

令和 7 年 2 月定例会

予算決算委員会資料
(観光文化スポーツ部)

雄和ふるさと温泉大規模改修事業について

雄和ふるさと温泉は、大規模改修により施設の延命化と機能の向上を図ることとしており、令和7年度に工事着手する予定である。

1 施設概要

- (1) 設置場所 秋田市雄和神ヶ村舟卸145番地 2
- (2) 設 置 年 平成7年12月
- (3) 構造規模 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 1,720.13㎡

2 事業概要

- (1) 事業期間 令和6年度から8年度まで
- (2) 事業費 1,452,142千円（うち辺地対策事業債の予定額1,407,800千円）
※ 単行案「秋田市雄和神ヶ村辺地に係る総合整備計画の一部を変更する件」を今議会に上程
- (3) 改修内容 状態の良好な躯体を活用し、内装や外壁等をリニューアルするほか、経年により老朽化した各種設備を更新する。
- (4) 事業計画 (単位：千円)

年度	事業費	内 訳	
		市 債	一般財源
R 6	25,221	25,200	21
R 7	860,649	829,600	31,049
R 8	566,272	553,000	13,272
計	1,452,142	1,407,800	44,342

※ 工事請負費、業務委託は継続費設定

(5) 事業スケジュール

秋田市雄和ふるさと温泉 大規模改修事業	R 6		R 7						R 8			
	2	3	4	5	6	7	8	9	5	6	7	8
設計業務委託	●	完了										
大規模改修工事 (R7.6議会案件)			●	発注	仮契約	●	契約・工事着手			●	工事完了	
設計監理業務委託 工事監理業務委託				●	発注	●	契約・業務開始				●	業務完了
指定管理施設 (指定管理者)	●	通常営業			●	ユアシス休館					●	リニューアルオープン

県指定有形文化財日吉八幡神社建造物調査経費について

1 趣 旨

近世の貴重な寺社建築がまとまって残る県指定有形文化財の日吉八幡神社について、将来にわたり保存・継承していくため、文化庁の指導を踏まえ、歴史的背景を含めた文化財としての価値や、将来的な修繕等の検討に資する老朽状況などに関する建造物詳細調査を実施する。

2 神社の概要

- | | | | |
|--------------|--------------------|------------------|--|
| (1) 名 称 | 日吉八幡神社 | | |
| (2) 所 在 地 | 秋田市八橋本町一丁目 4 番 1 号 | | |
| (3) 所 有 者 | 宗教法人 日吉八幡神社 | | |
| (4) 指定年月日 | 昭和61年 3 月 25 日 | | |
| (5) 主な建造物と年代 | 本殿：寛政 9 年（1797） | 拝 殿：安永 7 年（1778） | |
| | 舞殿：嘉永 4 年（1851） | 三重塔：宝永 4 年（1707） | |

3 事業概要

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| (1) 事業主体 | 秋田市 |
| (2) 事業期間 | 令和 7 年度 |
| (3) 事業費 | 19,128千円（国庫補助：9,564千円 市費：9,564千円） |
| (4) 事業内容 | 建造物調査、測量調査、報告書作成等 |



本 殿



拝 殿

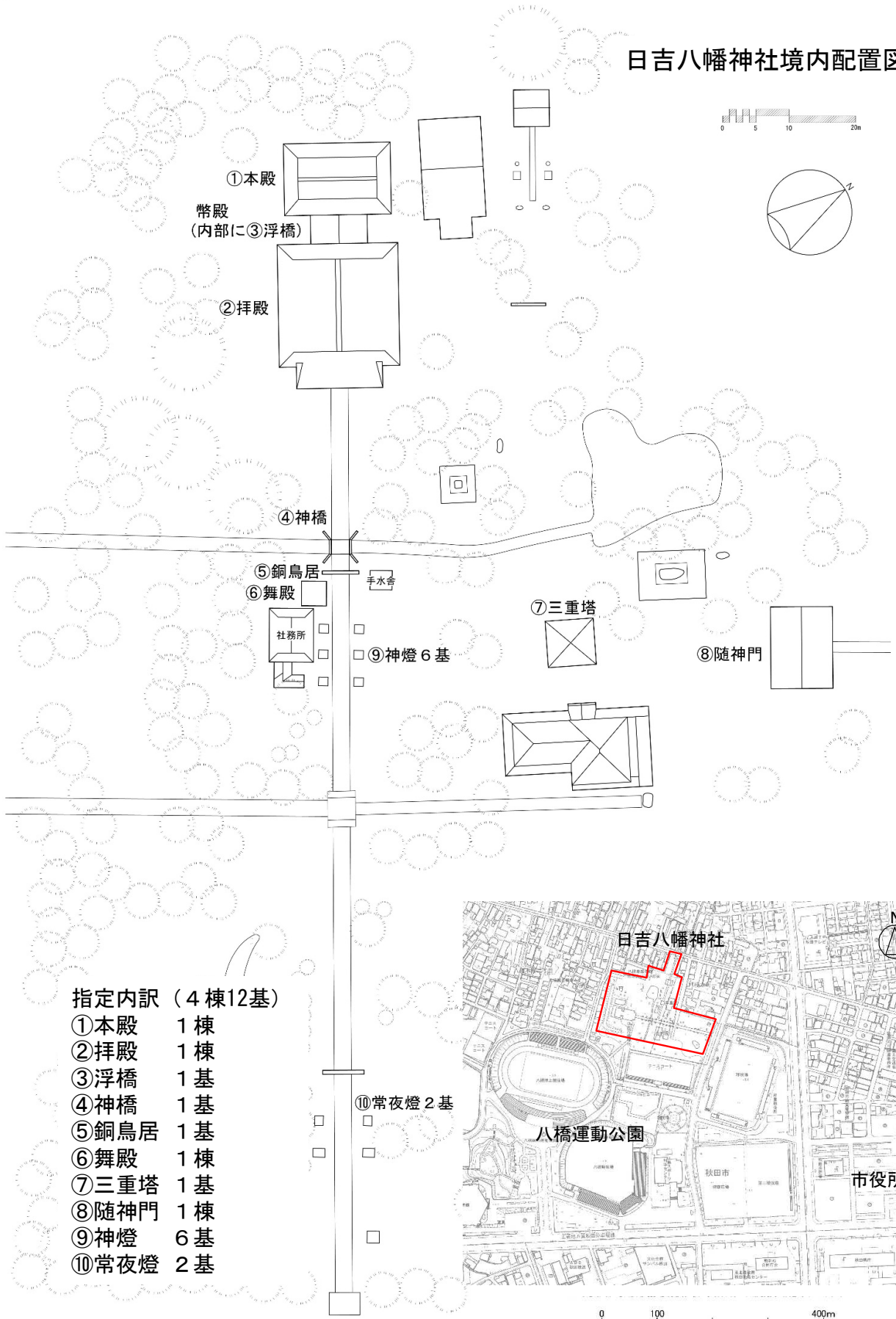


舞 殿



三重塔

日吉八幡神社境内配置図



秋田駅東西連絡自由通路劣化度調査経費について

秋田駅東西連絡自由通路について、長寿命化と安全性を確保することを目的とした改修を行うため、劣化度調査を実施する。

1 施設概要

- (1) 建設年 平成9年竣工、平成12年および平成16年に増築
- (2) 構造 鉄骨造2階建て
- (3) 延床面積 4,898.13㎡

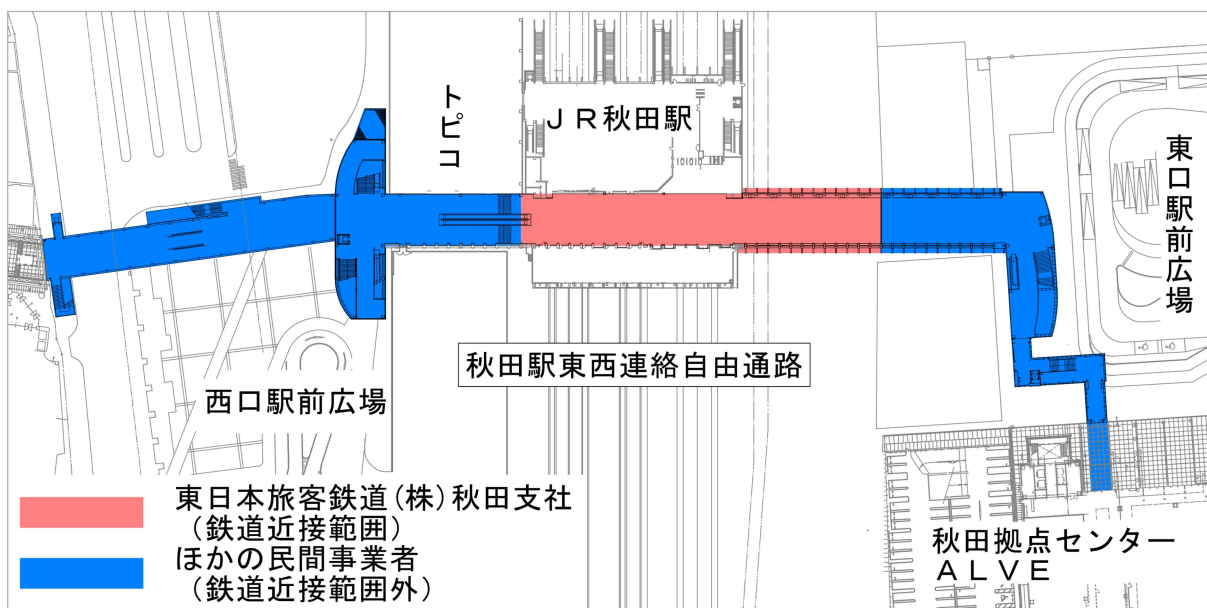
2 事業概要

- (1) 調査について
屋根・外壁・構造体および付帯する設備等（点検用架台・配管等）の劣化状況を調査する。
- (2) 事業費
16,815千円（一般財源）

3 委託先と調査範囲

劣化度調査については、「秋田駅東西連絡自由通路の維持管理等に関する協定書」に基づき、鉄道近接範囲を東日本旅客鉄道(株)秋田支社へ委託し、それ以外の範囲はほかの民間事業者へ委託する。

【調査範囲区分】



秋田駅東西連絡自由通路止水板設置経費について

雄物川下流圏域水災害対策プロジェクトの一環として、秋田駅東西連絡自由通路の昇降機および電気設備について、浸水被害を防止するための止水板を設置する。

1 事業概要

(1) 事業内容

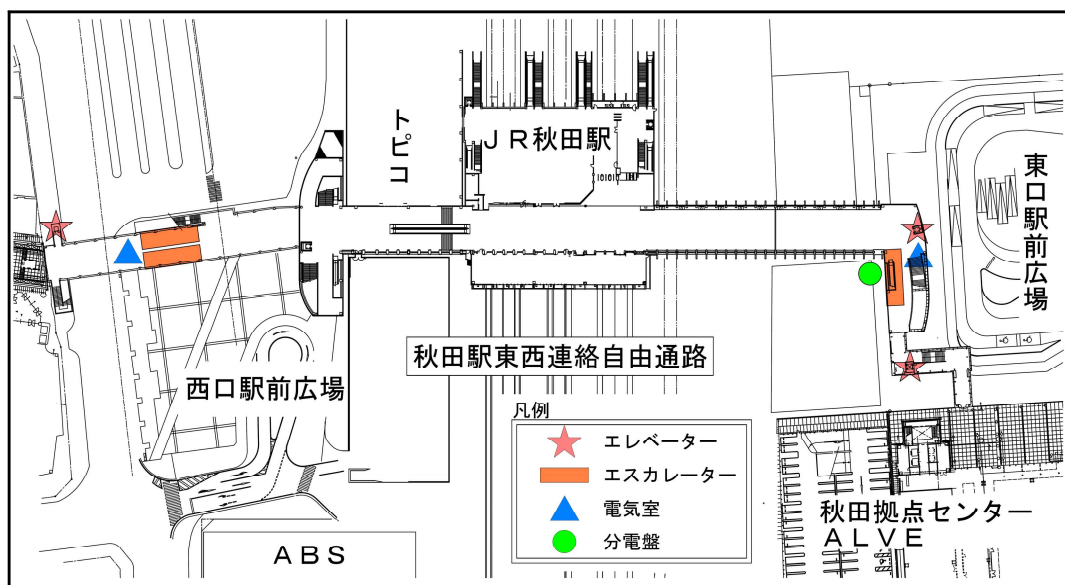
秋田駅東西連絡自由通路に設置されている昇降機および電気設備において、浸水リスクが高い箇所における浸水被害を防止し、バリアフリー機能や通路としての機能を維持することを目的とした止水板を設置する。

(2) 設置箇所 秋田駅東西連絡自由通路

ア エレベーター 3基

イ エスカレーター 3基

ウ 電気室 3か所（附属設備の分電盤1か所含む）



(3) 事業費

(単位：千円)

事業費	財 源 内 訳			備 考
	国庫補助金	市 債	一般財源	
24,000	—	24,000	—	緊急防災・減災事業債

2 止水板設置例



秋田駅東口駅前広場施設改修経費について

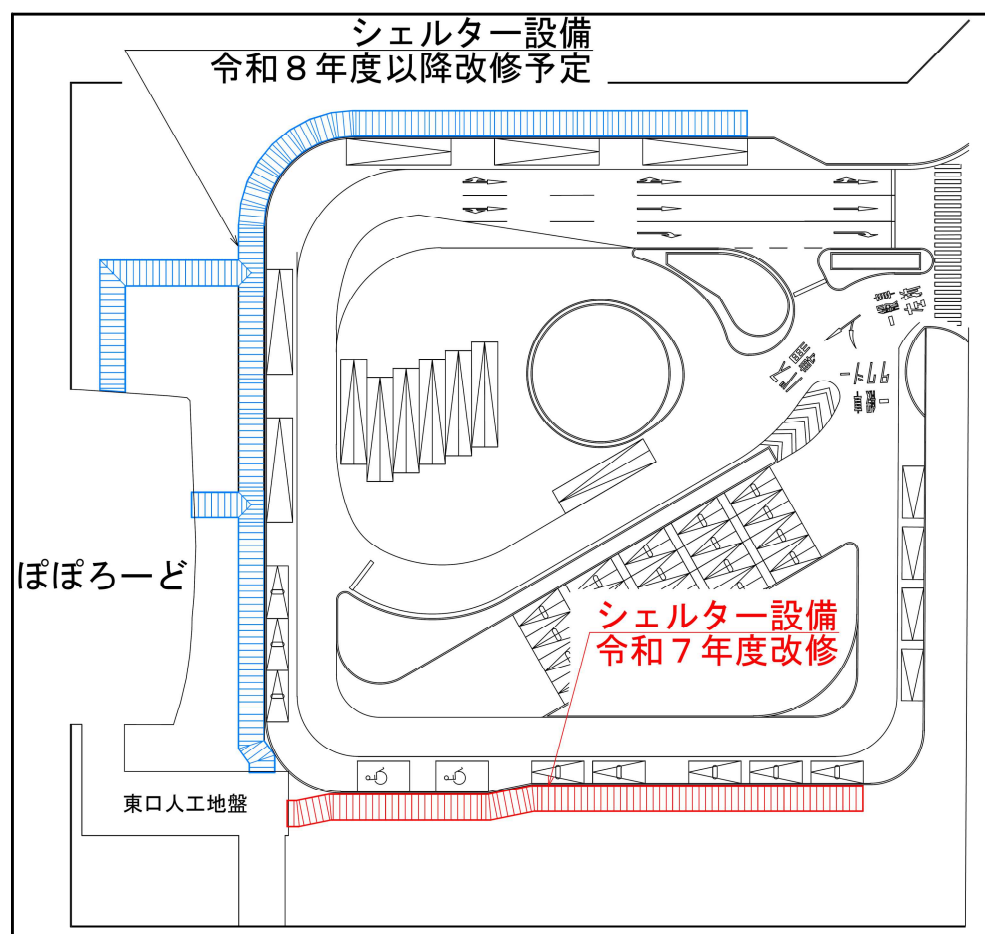
経年劣化した秋田駅東口駅前広場のシェルター設備について、安全性を確保するため、改修を行う。

1 事業概要

(1) 改修内容

シェルター設備の金属部材が腐食により劣化しており、利用者の通行に危険が生じる恐れがあることから、シェルター設備全体の長さ約230mにある金属部材のうち、利用者の多い動線上の約60mについて安全性を確保することを目的とした改修を行う。

(2) 改修範囲



配置図 秋田駅東口駅前広場

(3) 事業費

9,504千円（一般財源）

2 シェルター設備写真



シェルター設備 全景



シェルター設備 改修範囲

佐竹史料館開館準備経費について

1 周辺環境整備工事（35,596 千円）

佐竹史料館への来館ルートや屋外広場等の周辺環境を整備する。

- ・ 県立循環器・脳脊髄センター側の道路から佐竹史料館に通じる園路の整備



〈県立循環器・脳脊髄センター側の道路からの写真〉



〈園路途中からの写真〉

- ・ 屋外広場への敷芝や園路沿いの植栽等の整備
- ・ 案内看板等の設置

2 運営管理関係（23,174 千円）

所蔵資料の修理や来館者用備品の購入等、運営管理に必要な準備を進める。

- ・ 佐竹史料館所蔵の歴史資料の修理
- ・ 展示室で用いる棚や来館者用ロッカー等の備品の購入
- ・ 警備やキャッシュレス決済等の機器の設置

3 情報発信関係（10,172 千円）

佐竹史料館の開館や所蔵資料の魅力について市民や観光客等に発信する。

- ・ 開館記念式典やイベントの開催
- ・ 佐竹史料館のリーフレットやポスター、チラシの製作
- ・ 図録やミュージアムグッズの製作

4 事務所移転関係（7,901 千円）

佐竹史料館について現在の仮事務所から新施設に移転する。

- ・ 所蔵資料や事務備品等の移転作業
- ・ 仮収蔵庫の復旧作業

5 その他（7,376 千円）

仮事務所の維持管理や建設工事完了後の建物事後調査等を行う。